

平成29年第1回定例会

市長報告

新庁舎及び新福祉会館の建設に向けて

## 市長報告

### 新庁舎及び新福祉会館の建設に向けて

本日は、平成29年第1回定例会のお忙しい中、貴重な時間に市長報告の機会をお与えいただきましてありがとうございます。

平成28年10月4日、市議会から「新福祉会館と新庁舎の早期建設を求める決議」を御議決いただいたことも踏まえ、平成28年12月20日、私は、「清掃関連施設の再整備については、慎重かつ丁寧に進める。」、「新庁舎及び新福祉会館は、平成33年度竣工を目標とする。」、「第二庁舎賃貸借契約は、新庁舎竣工後、適切な時期までとする。」、「関連予算及び更なる検討の成果等については、平成29年第1回定例会にて示すこととする。」、この4点を新庁舎及び新福祉会館の建設に向けた新たな方針と位置付け、着実な歩みを進めていく考えであることを報告させていただきました。

本日は、その後の検討の成果並びに新庁舎及び新福祉会館の建設に向けた平成29年度を取組を主眼として、報告させていただきます。

はじめに、前回、市長報告を差し上げた際、多くの御質問をいただきました「新福祉会館」についてです。

昨年10月4日の市長報告以降、企画財政部と福祉保健部が中心となり、従来の考えにとらわれることなく、幅広い市民ニーズに即し、かつ、将来を見据えた機能を持ち合わせた新福祉会館について検討を重ねていることは、これまでもお示ししてきたところ です。

昨今の社会情勢は、少子・高齢化の更なる進展、家庭環境の変化、障がいのある方の自立と社会参加の進展に伴い、市民ニーズの多様化・高度化が進むとともに、誰もが輝ける共生社会の実現が求められています。また、福祉が求められる役割も大きく様変わりし、かつての限られた人たちへの支援等にとどまらず、生活や暮らしを社会全体で支えることが期待されるようになってきていると考えています。

新福祉会館は、このような期待に応える施設、より多くの方々に長く利用され、また、愛される施設とすることが望ましいという考えを関係部局と共有し、一体となって検討を重ねてきているところです。

市長報告資料1「(仮称)新福祉会館の建設に向けて」を御覧ください。

小金井市地域福祉計画の4つの理念である「人間性の尊重」、「自主・自立の確保」、「参加・連帯と共生」及び「生活の質の向上」を承継しつつ、「つなぎ、つながり、支え合い、高め合う、新しいきずなを創ります」ということを施設整備に当たっての基本理念とし、「保健福祉の総合的支援の充実」、「地域における多様な交流や活動の推進」及び「参加と協働による地域福祉活動の推進」といった3つの基本的な機能を展開していく方向性をお示ししたものとなります。

施政方針でも触れさせていただきましたとおり、様々な制度の枠組みを超え、年齢、性別、障がいの有無にかかわらず、全ての市民の皆様が住み慣れた地域で互いに支え合い、助け合いながら、安全・安心な生活を送ることができる地域づくりを目指し、福祉に関する各種の施策を展開していくことが肝要であると考えております。

資料中に3つの基本的な機能ごとに機能イメージを添えさせていただいておりますが、この機能を補完又は充実させていくことも今後の検討には欠かせないものと考えています。その点から新福祉会館の立地は、市域のいずれのエリアに偏らないこと、市民サービスの視点から申請手続等の窓口と近接していること、施設利用者の交通動線や駐車場の確保が見込めること、発災時の体制も含めた安全・安心を確保することが望ましいと考えるところです。

また、新庁舎の基本理念にあります自治の要となる「市民のための庁舎」、人や地域に「安全でやさしい庁舎」、この2つの理念を支えるバックボーンとしてきずなを深めるノーマライゼーションが掲げられていることを考えますと、新福祉会館の建設場所についても「庁舎建設予定地」とすることは一定、理にかなうものであり現時点においては最も有力な候補地であると考えております。

平成29年度小金井市一般会計予算において、新福祉会館建設に関しまして、市民検討委員会設置及び新福祉会館建設基本計画策定経費について計上いたしました。私は、この予算の審議等を通じまして、私どもが協議、調整等を進める上での御意見、御助言等をいただけてまいりたいと考えています。いただきました御意見等につきましては、今後立ち上げます庁内検討委員会において、新福祉会館の建設に係る基本計画の素案を練り上げていく中で適切に検討、対応する所存です。

続きまして、「新庁舎建設」についてです。

本市の長年の課題であるとともに私の最大の目標であり、公約でもある「庁舎問題の解決」につきましては、新庁舎は庁舎建設予定地に整備すること、新庁舎竣工の暁には第二庁舎は所有者へ返還することの土台を堅持し、積極的に庁舎建設基金へ積立てを行い、着実な準備を進めてきております。そして、この歩みをもう一步前に進めていくためには、避けて通ることのできない課題である庁舎建設予定地内の既存施設の再配置に

向き合う必要があるところです。

これまで申し上げてまいりましたとおり、清掃関連施設の再整備については、慎重かつ丁寧に進めてまいりますが、私が自ら掲げた平成33年度の新庁舎竣工に向けて、庁舎建設予定地の現況にあわせた一定の取組に着手したいと考えております。

そのための経費として、平成29年度小金井市一般会計予算において、新庁舎等建設計画調査委託料を計上いたしました。この調査を実施することにより、新福祉会館を含めた施設配置の検討を行うとともに、各案における関係法令等の法的条件の整理、施設規模に応じた建設費等の試算及びイメージパースの作成等、庁舎建設予定地を最も有効活用できる方策について、具体像を示してまいりたいと考えております。

新庁舎等建設計画調査においては、庁舎建設予定地内の既存施設の有無にかかわらず庁舎建設を前進させるため、専門的な知見を踏まえた調査結果を得てまいりたいと考えており、新庁舎建設事業のみならず、新福祉会館の基本計画策定に向けた市民検討委員会とも適切な形で情報共有を進めていく考えです。

続きまして、「長期財政見通し」についてです。

市長報告資料2「小金井市長期財政見通し（平成28年度～平成37年度）」は、先行き不透明な社会経済情勢において、将来、多額の事業費が必要であると見込まれる課題に向き合い、財政運営の健全性又は対応策を確認及び検討するためのものと位置付けています。

詳細は資料を御覧いただきたいと思えます。

この長期財政見通しの試算は、現時点で制度の変更が予定されているもの以外は、原則として現行の制度が変わらないものとし、これまでの決算数値やまちづくりの実績等を参考にするなど、一定の仮定に基づき推計し、投資的経費にあっては私が実施することの意思を固めている主な事業について、一定適切に盛り込めたものと考えております。

具体的に列挙いたしますと資料13ページに記載しております、新可燃ごみ処理施設整備・運営事業、清掃関連施設再配置事業、新庁舎建設事業、新福祉会館建設事業、武蔵小金井駅南口市街地再開発事業、東小金井駅北口土地区画整理事業などとなります。目下、本市の重要課題である新庁舎、新福祉会館、清掃関連施設に加え、施政方針において私がバトンをしっかりと握らせていただく決意をお示しいたしました、駅周辺のまちづくりに関する事業です。

一方、今後の財政運営を適切に行っていくためには、今後策定されます「未来をひらく小金井市改革」小金井市行財政改革プラン2020の確実な実行を前提に、事業の見直しやその事業の効果等も含めて検討を進めることが重要であるとの認識であります。

結びとなりますが、私は、来るべき平成29年度を新庁舎建設及び新福祉会館建設の整備手法、スケジュール、建設経費等について一定の材料をお示しする等、市議会との情報共有を図るとともに、平成30年度には両事業とも設計段階に入ることを共通の目標としてその歩みを進めていくための大切な年度と位置付けてまいりたいと考えております。

私からの報告は以上です。

どうぞ御理解を賜りますよう、お願いいたします。